



**全力でやり抜いた運動会**  
 赤団長 6年1組 多田 慶司  
 ほくは、赤団の団長になりたいと感っていました。それは赤団をまとめて、運動会を最高の思い出にしたかったからです。  
 団長になってからは、まず応援団がまとまるように頑張りました。六年生だけではなく、五年生も話をしっかり聞いてくれたので、とても助かりました。しかし演舞がなかなか完成せず間に合うのか心配でした。何回も何回も練習をするうちにみんなの息が合ってきて、成功していくのが分かりました。  
 運動会の応援合戦は、今までやってきたことをやりきるだけだと思えました。みんなが全力の演舞が出来たと思います。また、赤団にできるだけ元気を与えられるように応援も頑張りました。  
 運動会が終わる、ほくは赤団の応援席に行きます。団長からの一言で、「みんなと協力できて最高の運動会になりました。」と伝えました。  
 青団には負けてしまいましたが、全員がほくの話真剣に聞いてくれてうれしかったです。最高の思い出ができました。



**最後の運動会を通して**  
 青団団長 6年2組 西 恭太郎  
 小学校最後の運動会が終わりました。ほくは、この運動会を心に残っていることが三つあります。  
 一つ目は、ほくは、ほくのチームはおしくも二位でした。でも、みんな一生懸命だったので悔いはいりません。  
 二つ目は、応援運動です。トラック運動では、何度も何度も練習しました。最後にはみんな心を一つにして表現ができてよかったなと思えました。  
 そして、三つ目は応援団です。青団の団長を努めました。応援の練習では、腰を落とすことを意識して練習しました。最初のころは、うまくまとめることができず情けない団長だったかもしれないけれど、五・六年生や先生方の支えがあり、成功することができました。青団が優勝した時には、感動して泣きそうになりました。  
 ここで、経験したことをこれからの学校生活に生かしていきたいです。

